

幼稚園における 2 歳児の保育 ～多様性の中の模索～

京都教育大学 教育学部幼児教育科准教授 古賀松香



このところ、幼稚園における 2 歳児の保育について、京都府私立幼稚園連盟の先生方と共に学ぶ機会をいただいています。これまで 3 回の連続講座を 2 年間担当させていただき、先生方の新しい分野へ向かう開拓的挑戦を、微力ながら応援しているところです。

幼稚園における 2 歳児の保育は、現在、各園の実施形態が非常に多様な状況にあります。親子通園タイプもあれば、子どもを預かるタイプもあり、また、親子通園から子ども預かりタイプへ移行する園もあります。通う日数や方法、弁当か給食か、クラスサイズや保育者の人数配置など、非常に多様です。就労している保護者であるかどうかもさまざま、この点は保育時間や保育形態に大きくかわってきます。このように、保育の構造的な側面が多様であることで、各園の抱える課題が大きく異なります。また、幼稚園の 2 歳児の保育としての保育内容の基準が未だありません。幼稚園における 2 歳児の保育は、保育所の 2 歳児保育とは異なります。乳児の頃から園に通うことが子どもにとって当たり前だった子どもが初めてやってくる幼稚園とでは、必要な子育ての支援も子どもの自立具合も全く異なります。保育所保育指針を参考にするにしても、幼稚園での 2 歳児の保育とは、何を大切にすべきなのかと、経験の無い分野での戸惑いが現場には大きくあります。これからますます多くの園が取り組む可能性のある 2 歳児の保育について、今ある課題を整理し、情報や現場の知を共有し、構造的な整備をすすめる必要があるのは言うまでもありません。

一方で、現在多様な実践が展開されているからこ

そ、学ぶべきことが多いとも感じています。幼稚園における 2 歳児の保育は、家庭教育から幼稚園教育の接続教育に位置付けられますが、方法としても移行期ならではの折衷的方法が考えられるわけです。構造的に自由であるからこそ、保護者参加型の活動をどの程度入れ込むか、その中でどんな内容を園から提供していくか、子育てのコツを共有するための場や時間の持ち方の工夫が多様に考えられます。たとえば、家庭では自分だけで着替えや食事の準備をする経験をしたことがないとか、トイレに座ったことがない子どもも多くいます。保護者は、食事も着替えも排泄も、全部幼稚園で自立させてくれるとありがたいと思っているかもしれません。しかし、ここに大きな分かれ道があります。保護者の育児丸投げを促進するのか、保護者が子育てのコツやヒントを知ることができるように支援するのか。当然、具体的な子育ての支援を展開していきたいので、ゆったりとした雰囲気の中で、朝の 30 分やお迎えのときの 30 分、保護者と一緒にトイレに行ったり、着替えたりする時間をとるといったことが考えられます。保育者にサポートしてもらいながら、子ども主体に援助する方法が学べるようにすることを目指します。そういった子育ての具体的な支援を保育時間に入れ込んでいく、という柔軟な工夫が取り入れられるのです。

2 歳という育ちの過程で、保護者と保育者が共にどう子どもと子育てにかかわり、3 歳児からの幼児教育へ移行を進めていくのか。子どもと保護者にとってより豊かな幼児期の過ごし方となる、2 歳児の保育とはどのようなものか。現場の知を結集し、よりよい在り方を模索していく時がきています。

第 1 2 回都道府県政策担当者会議が開催される

9月26日、東京・私学会館にて全日私幼連の第12回都道府県政策担当者会議が開催され、全国から約110名の先生方が参加されました。

■講演①「最近の地方財政をめぐる諸課題」

講師：新田一郎・総務省自治財政局調整課長

まず国家財政と地方財政のしくみについて、教育・社会保障・治安等の財政の概要と詳細な説明がありました。次に令和2年度地方交付税の概算要求と地方財政の課題について説明があり、地方財政措置について各府省への申入れが行われたとの報告がありました。また「人づくり革命」の一環である幼児教育の無償化についての説明も行われました。

■講演②「令和2年度概算要求について」

講師：井上睦子・文部科学省高等教育局私学部私学助成課長

令和2年度私学助成関係予算要求の全体像について説明があり、一般補助における園児一人当たりの単価や、特別補助における特別支援教育・預かり保育の推進、子育て支援活動の推進等について、そして耐震化促進についてもお話がありました。

■講演③「幼児教育の無償化について」

講師：森友浩史・文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

2030年以降の社会像や世の中のニーズを踏まえ、幼児教育無償化後に幼稚園が求められる役割について説明がありました。また、幼児教育無償化に関する最近の動向についても報告がありました。最後に令和2年度概算要求のうち幼稚園部分について詳細な説明がありました。

■政策委員会報告

全日私幼連政策委員会より、水谷豊三委員長をコーディネーターに、前田元照副委員長、佐々木栄光委員、藤田聡委員の3名が私学助成園における幼児教育無償化の市町村対応について実例を交えて説明を行いました。

■坪井久也総務委員長からの報告

坪井総務委員長より、国から都道府県等宛に発出された『幼児教育の無償化についての留意事項』について自治体向けFAQの改定が行われた旨の説明がありました。次に『子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う留意事項等について』より、10月以降の公定価格の単価案(2号子どもの副食費、栄養管理費加算、チーム保育推進加算関係)の説明がありました。これらは、都道府県団体事務局経由で加盟園に既に周知している事項であるが、改めて情報を伝えてほしいとお話がありました。

CHAPPY 園児管理シリーズ クラウド対応

園児管理システム

パソコンでも
タブレットでも
使えます！

PC タブレット

園で役立つ機能が満載！ しかも簡単入力で時間削減。
チャイルド社の園児管理システムは、
忙しい先生を応援するためのシステムです。

園長

先生

出席の管理
未就園児管理
バスコース管理
承認機能完備

パソコン内ではなく
データセンターでの
管理になるので
セキュリティに
優れています。

個人カリキュラム
検査記録
課外活動一覧
指導計画

開発・販売

株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL 03-3333-2345
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

幼稚園ナビ担当者向け説明会が開催される

10月7日、東京・私学会館において、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催の「幼稚園ナビ担当者向け説明会」が開かれ、各都道府県における担当事務局員と研究研修担当の先生方約80名が参加されました。はじめに、東重満(公財)全日私幼研究機構理事長より開会のあいさつがあり、説明会に入りました。概要は次のとおりです。

講演Ⅰ：「幼稚園ナビを含めた今日的課題について」
加藤篤彦 (公財)全日私幼研究機構研究研修委員会委員長

まず、研修履歴を幼稚園ナビで管理していく背景として、2022年度を目途に研修受講要件の必須化を検討している、処遇改善等加算Ⅱに係るキャリアアップ研修について三府省課長合同通知の引用をもとに詳細な説明がありました。

続いて、幼児教育・保育が無償化されたことにより、更なる質の高い幼児教育の提供が求められるとして学校評価・学校関係者評価の必要性について説明がありました。

最後に、令和2・3年度の教研課題について、重点課題をふまえ詳細な説明がありました。



講演Ⅱ：「幼稚園ナビの操作方法」

岩崎正明 株式会社ブラテック代表取締役社長

岩崎正明株式会社ブラテック代表取締役社長より、幼稚園ナビの主に研修機能における操作方法を新機能も含めご説明いただきました。

その後、休憩をはさみ質疑応答をおこないました。
おわりに、川原恒太郎(公財)全日私幼研究機構研究研修委員会副委員長よりあいさつがあり、閉会しました。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

令和 2 年度 概算要求（幼稚園関係）の概要について

1. 幼児教育無償化の実施（幼稚園就園奨励費補助等） 141 億円＋【事項要求】

全ての子供に質の高い幼児教育を保障するため、「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」等を踏まえ、令和元年 10 月から実施される無償化措置を着実に実施する。

※事項要求とは、個別政策の予算要求額を明示せず、項目だけを記載して要求すること

2. 私立高等学校等経常費助成費補助金（幼稚園分）273 億円 ＋ 2 億円

◆一般補助＜162 億円＞

○園児 1 人あたり単価：24,236 円（287 円増／1.2%増）

（幼児教育無償化に伴い生じる事務負担への対応等）

○幼稚園教員の人材確保の取組に対する支援を引き続き実施

◆特別補助＜111 億円＞

○幼稚園等特別支援教育経費＜64 億円＞ ＋ 1 億円

○預かり保育推進事業＜37 億円＞ ＋ 1 億円

○幼稚園の子育て支援活動の推進＜11 億円＞ 前年同額

私学助成については、園児一人当たりの補助単価増や、特別な支援が必要な幼児の受入れや預かり保育に対する支援の充実を要求しております。

創刊10周年!!



園のリーダーのために
保育ナビ

11月号

「ICT」をどう使う?

地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために
保育ナビ

2019年11月号

定価：本体価格 926 円＋税

●特集 ICT をどう使う? ～質の高い保育のためのよりよい関係に向けて～

AI（人工知能）や ICT（情報通信技術）という言葉をごく当たり前に聞くようになりました。今はまだ ICT とは程遠いように感じる園での業務でも、今後、その技術を活用する場面は増えていきそうです。将来の保育現場を見据えながら ICT がどのような場面で活かされるようになるのか考えます。

管理職向け 月刊誌

B5 判 72 ページ
ISBN978-4-577-81463-5 731

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

3. 幼児教育の環境整備の充実 201 億円＋【事項要求】

◆認定こども園等への財政支援＜186 億円＋【事項要求】＞

認定こども園の設置促進のため、認定こども園の施設整備・園舎の耐震化・防犯対策に要する経費の一部を補助するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進、研修等の実施、園務改善のための ICT 化等を支援し、子供を安心して育てることが出来る体制の整備を促進する。

- ① 認定こども園施設整備交付金 175 億円＋事項要求
- ② 教育支援体制整備事業費交付金 11 億円

◆私立幼稚園の施設整備の充実 ＜15 億円＋【事項要求】＞

緊急の課題となっている耐震化のための耐震補強・改築、非構造部材の耐震対策等の安全対策等の防災機能強化工事に要する経費とともに、防犯対策、アスベスト対策、バリアフリー化やエコ改修等に要する経費の一部を補助し、幼稚園の環境整備を図る。

※Is 値 0.3 未満の耐震改築の嵩上げ（補助率：1/3→1/2）、
園舎等のバリアフリー化事業の創設を要望

幼児教育の環境整備の関連予算として、認定こども園への移行に伴う施設整備等のための認定こども園施設整備交付金については、175 億円＋事項要求となりました。

緊急の課題となっている耐震化やエコ改修等のための私立幼稚園施設整備費については、15 億円＋【事項要求】となりました。

4. 幼児教育の質の向上 5.2 億円 ＋1.8 億円

●幼児教育実践の質向上総合プラン ＜4.8 億円＞ ＋1.7 億円

・幼児教育推進体制の充実・活用強化事業 ＜2.26 億円＞ ＋0.78 億円

地方公共団体において、公私立幼稚園・保育所・認定こども園に対して一体的に域内全体の幼児教育の質の向上を図るため、担当部局の教育・保育内容面に係る事務の一元化や幼児教育センターの設置等、幼児教育の推進体制を構築している都道府県及び市町村を対象に、幼児教育アドバイザーの配置及びそれらを活用した研修支援、幼小接続の推進等に必要な費用の一部を補助する。

・幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 ＜0.53 億円＞ ＋0.32 億円

幼稚園教諭免許状の上進のための免許法認定講習等の開設数が少ないことから、講習等の開設支援を通じて一種免許状の取得機会を拡大し、幼稚園教諭の専門性の向上を図る。

・幼稚園の人材確保支援事業 ＜0.86 億円＞ ＋0.16 億円

幼稚園教諭の新規採用促進、離職防止・定着促進など、各地域における幼稚園の人材確保に向けた先導的な取組を支援し、有効な方法を検証・普及する。

・ 幼児教育の質向上のための評価実施支援事業 <0.31 億円> +0.03 億円

幼稚園等が教育活動や園運営について評価し更なる質の改善を図るため、各園の評価の実施を支援するモデル的な取組を開発し普及するとともに、各園の学校評価促進や幼児教育の質の向上に資する評価の在り方に関する調査研究を行う。

・ 幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究 <0.42 億円>

+0.01 億円

小学校教育との接続、家庭教育との連携等、教育課題に対応した指導の在り方を調査研究する。また、Society5.0時代の先端技術の活用などを通じて、園内環境や幼児行動、教員の働きかけ等を総合的・多角的に捕捉・可視化し、幼児の豊かな行動を引き出す環境の構築や教師による適切な指導を支援するための実証研究を実施する。

● 【新規】特別な配慮を必要とする幼児への教育充実支援事業 <0.4 億円>

障害のある幼児や外国人の幼児など特別な配慮を必要とする幼児の受入れを行う教諭等が、必要とされる知識を得ることができるよう、必要となる研修プログラムの開発及び指導上の配慮に関する研究を行う。

● 幼稚園教育課程の理解の推進・ECEC Network 事業の参加 <0.4 億円>

+0.1 億円

新幼稚園教育要領の理解の下、適切な教育課程が編成・実施されるよう、研究協議会の開催や指導資料の作成を行う。また、OECDにおいて計画されている調査に参加し、幼児教育の質の向上を図るための政策立案に資するデータや各国の事例を収集する。

幼児教育の質の向上の関連予算としては、昨年度同様「幼児教育実践の質向上総合プラン」が概算要求され、地方公共団体における幼児教育推進体制の充実・活用強化、幼稚園等における人材確保の取組や質向上のための評価の在り方の研究、幼稚園教諭の専門性向上に向けた免許上進を推進する事業等がその内容となっています。また、新規事業として、障害のある幼児や外国人の幼児など特別な配慮を必要とする幼児への教育充実を支援する事業が概算要求されました。

なお、本連合会においては、平成29～令和元年度予算を活用し、人材確保支援アプリ「幼稚園ナビ」を開発運用中です。

5. 子ども・子育て支援新制度関係

令和2年度の公定価格等の内容については、「令和2年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」（令和元年7月31日閣議了解）に基づき、予算編成過程で年末までに検討されます。

令和2年度概算要求については、加盟園のご支援・ご協力をいただきながら強力かつ懸命に折衝活動が続けた結果、厳しい財政状況にもかかわらず、このような幼稚園関係の概算要求枠を確保することができました。

幼児教育の振興

令和2年度要求・要望額 347億円+【事項要求】
(前年度予算額 184億円) ※臨時・特別の措置(防災・減災、国土強靱化関係)除く



1. 幼児教育無償化の実施

141億円+【事項要求】(141億円)

全ての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」等を踏まえ、令和元年10月から実施される無償化措置を着実に実施する。

2. 幼児教育の質の向上

5.2億円(3.4億円)

○幼児教育実践の質向上総合プラン

4.8億円(3.1億円)

幼児教育の無償化とあわせて、幼児教育の質の向上も極めて重要。平成30年4月から実施された幼稚園教育要領等を踏まえつつ、幼児教育の実践の更なる質の確保・向上を図る必要がある。そのため、地方公共団体における幼児教育推進体制の充実・活用強化、幼稚園等における人材確保の取組や質向上のための評価の在り方の研究、幼稚園教諭の専門性向上に向けた免許上進の推進、障害のある幼児や外国人の幼児など特別な配慮を必要とする幼児への教育充実支援を行うとともに、Society5.0時代の先端技術の活用も対象に教育課題に対応した実証研究等の事業を実施する。

○幼稚園教育課程の理解の推進・ECEC Network事業の参加

0.4億円(0.3億円)

新幼稚園教育要領の理解の下、適切な教育課程が編成・実施されるよう、研究協議会の開催や指導資料の作成を行う。また、OECDにおいて計画されている調査に参加し、幼児教育の質の向上を図るための政策立案に資するデータや各国の事例を収集する。

3. 幼児教育の環境整備の充実

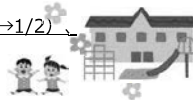
201億円+【事項要求】(39億円)

○私立幼稚園施設整備費 15億円+【事項要求】(5億円)

※前年度予算額は、臨時・特別の措置(防災・減災、国土強靱化関係)8億円を除く

緊急の課題となっている耐震化のための耐震補強・改築、非構造部材の耐震対策等の安全対策等の防災機能強化工事に要する経費とともに、防犯対策、アスベスト対策、バリアフリー化やエコ改修等に要する経費の一部を補助し、幼稚園の環境整備を図る。

※Is値0.3未満の耐震改築の嵩上げ(補助率:1/3→1/2)、
園舎等のバリアフリー化事業の創設を要望



○認定こども園等への財政支援

186億円+【事項要求】(34億円)

※前年度予算額は、臨時・特別の措置(防災・減災、国土強靱化関係)11億円を除く

認定こども園の設置促進のため、認定こども園の施設整備・園舎の耐震化・防犯対策に要する経費の一部を補助するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進、研修等の実施、園務改善のためのICT化等を支援し、子供を安心して育てることが出来る体制の整備を促進する。

◆認定こども園施設整備交付金 175億円+事項要求
◆教育支援体制整備事業費交付金 11億円

幼児教育実践の質向上総合プラン

令和2年度要求・要望額 477百万円
(前年度予算額 308百万円)



幼児教育の無償化とあわせて、幼児教育の質の向上も極めて重要。平成30年4月から実施された幼稚園教育要領等を踏まえつつ、幼児教育の実践の更なる質の確保・向上を図る必要がある。そのため、地方公共団体における幼児教育推進体制の充実・活用強化、幼稚園等における人材確保の取組や質向上のための評価の在り方の研究、幼稚園教諭の専門性向上に向けた免許上進の推進、障害のある幼児や外国人の幼児など特別な配慮を必要とする幼児への教育の充実を支援するとともに、Society5.0時代の先端技術の活用も対象に教育課題に対応した実証研究等、以下の事業を実施する。

幼児教育推進体制の充実・活用強化事業

226百万円(148百万円)

地方公共団体において、公私立幼稚園・保育所・認定こども園に対して一体的に域内全体の幼児教育の質の向上を図るため、担当部局の教育・保育内容面に係る事務の一元化や幼児教育センターの設置等、幼児教育の推進体制を構築している都道府県及び市町村を対象に、幼児教育アドバイザーの配置及びそれらを活用した研修支援、幼小接続の推進等に必要の費用の一部を補助する。

公私・施設類型に関わらず域内全体の幼児教育の質の向上を一体的に推進

幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業

53百万円(21百万円)

幼稚園教諭免許状の上進のための免許法認定講習等の開設数が少ないことから、講習等の開設支援を通じて一種免許状の取得機会を拡大し、幼稚園教諭の専門性の向上を図る。

幼稚園教諭の専門性の向上、社会的地位の向上

幼稚園の人材確保支援事業

86百万円(70百万円)

幼稚園教諭の新規採用促進、離職防止・定着促進など、各地域における幼稚園の人材確保に向けた先進的な取組を支援し、有効な方法を検証・普及する。

幼稚園等における安定・継続的な学校運営、教育活動等の改善

幼児教育の質向上のための評価支援事業

31百万円(28百万円)

幼稚園等が教育活動や園運営について評価し更なる質の改善を図るため、各園の評価の実施を支援するモデル的な取組を開発し普及するとともに、各園の学校評価促進や幼児教育の質の向上に資する評価の在り方に関する調査研究を行う。

指導方法や園内環境改善のための手法の開発

【新規】特別な配慮を必要とする幼児への教育充実支援事業

40百万円(新規)

障害のある幼児や外国人の幼児など特別な配慮を必要とする幼児の受入れを行う教諭等が、必要とされる知識を得ることができるよう、必要となる研修プログラムの開発及び指導上の配慮に関する研究を行う。

幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究

42百万円(41百万円)

小学校教育との接続、家庭教育との連携等、教育課題に対応した指導の在り方を調査研究する。また、Society5.0時代の先端技術の活用などを通じて、園内環境や幼児行動、教員の働きかけ等を総合的・多角的に捕捉・可視化し、幼児の豊かな行動を引き出す環境の構築や教師による適切な指導を支援するための実証研究を実施する。

私立高等学校等経常費助成費等補助（幼稚園分）の概要

令和2年度要求・要望額 273億円
(前年度予算額 271億円)



事業内容

一般補助

162億円（+1億円）

- 園児一人当たりの単価を1.2%増（幼児教育無償化に伴い生じる事務負担への対応等）
- 幼稚園教員の人材確保の取組に対する支援を引き続き実施

特別補助

111億円（+2億円）

幼稚園等特別支援教育経費

64億円（+1億円）

都道府県が、特別な支援が必要な幼児が2人以上就園している私立の幼稚園又は幼保連携型認定こども園に特別な助成を行う場合、国が都道府県に対してその助成額の一部を補助。

・対象園児数：約1.7万人（+約200人）

教育改革推進特別経費（子育て支援推進経費）

48億円（+1億円）

預かり保育推進事業

37億円（+1億円）

幼稚園の教育時間終了後や休業日に「預かり保育」を実施する私立の幼稚園等に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1/2以内を補助。

・通常の預かり保育における基礎単価の増：10万円

幼稚園の子育て支援活動の推進

11億円（前年同額）

教育機能又は施設を広く地域に開放することを積極的に推進する私立幼稚園等に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1/2以内を補助。

※括弧内は対前年度増減額。
単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

教育改革推進特別経費（子育て支援推進経費）

令和2年度要求・要望額 48億円
(前年度予算額 47億円)



事業内容

子ども・子育て支援の更なる質の向上を図るとともに、平成29年6月に策定された「子育て安心プラン」等を踏まえ、多様な保育の受け皿を拡充し、待機児童の解消等を目指すため、幼稚園における預かり保育や子育て支援活動を支援する。

預かり保育推進事業

37億円（+1億円）

幼稚園の教育時間終了後や休業日に「預かり保育」を実施する私立の幼稚園等に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1/2以内を補助。

令和2年度概算要求での対応

「子育て安心プラン」の内容や、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園等の状況を踏まえつつ、子ども子育て支援の更なる質の向上を図るため、通常の預かり保育に係る基礎単価を増額（10万円増）し、支援の充実を図る。



預かり保育推進事業単価表(令和2年度要求における変更案)

① 通常の預かり保育	基礎単価	開園日の半分以上の日数、1日2時間以上開設			700,000円 → 800,000円
	加算単価	次の要件に該当する幼稚園等			
			預かり保育時間 5時間～6時間/日	預かり保育時間 6時間～7時間/日	預かり保育時間 7時間以上/日
	-	-	100,000円	200,000円	300,000円
	預かり保育担当者数 2人/日	250,000円	500,000円	750,000円	950,000円
② 長期休業日等預かり保育	基礎単価	(1) 長期休業日の10日以上の日数、1日2時間以上開設			80,000円
		(2) 休業日の19日以上の日数、1日2時間以上開設			150,000円
	加算単価	次の要件に該当する幼稚園等			
			(1) 長期休業日	(2) 休業日	
	預かり保育担当者数 2人/日		140,000円	200,000円	
	預かり保育担当者数 3人以上/日		260,000円	370,000円	

幼稚園の子育て支援活動の推進

11億円（前年同額）

教育機能又は施設を広く地域に開放することを積極的に推進する私立の幼稚園等に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1/2以内を補助。

※括弧内は対前年度増減額。
単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

STEP 1 事前訪問



- ▶ ECEQの趣旨説明
- ▶ 園長・主任などへのヒアリング

ECEQコーディネーターが公開園の園長などトップリーダーを訪問し、まずECEQの概要を説明し理解を得ます。次に園の理念や現状と課題を聴き取り、公開保育に望むことなどを聴き出します。

STEP 2 事前研修



- ▶ 自園の良さや課題を見つける
- ▶ 公開保育で期待したい成果を見つける

現場の保育者に対してECEQを説明し、保育者自身が考える園の現状と課題をECEQコーディネーターの進行によるワークショップなどを通して明らかにしていきます。

STEP 3 準備



- ▶ 「問い」づくり
- ▶ 案内づくり
- ▶ 資料づくり

参加者から意見をもらいたい保育の観点を、公開保育当日に「問い」として投げかける文を作ります。「問い」があることで参加者の視点が定まり見学後の話し合いの基礎ができます。公開園が「知りたいことを知ることができる」公開保育にするための大切なポイントです。

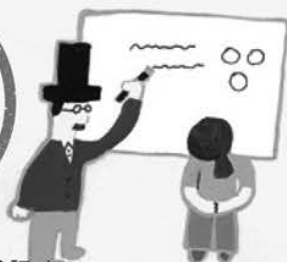
STEP 4 公開保育



- ▶ オリエンテーション ▶ 見学
- ▶ 分科会(協議会) ▶ 全体会

午前中、公開園はふだん通りの保育を行い参加者から「問い」に対するフィードバックをもらいます。分科会はECEQコーディネーターが司会進行し、話し合いが実りあるものになるように努め、全体会で各分科会の内容がシェアされます。

STEP 5 事後研修 (振り返り)



- ▶ フィードバックを検証する
- ▶ 自園の良さや課題をみつける
- ▶ 成果を整理する

ECEQコーディネーターとともに公開保育を振り返り、良かった点や次に取り組むべき課題を見いだしていきます。やりっ放しにせずに、丁寧に振り返ることによって園の幼児教育の質がひとつ上のステージに進むのです。

STEP 6 認定



- ▶ 認定証授与

当機構から「ECEQ認定証」が発行されます。質の高い幼児教育を目指して自主的に取り組んだ証としてこれを公表し、質の高い幼児教育の重要性を社会に対して積極的に訴えることも大切な情報公開となります。

上記は、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構発行「ECEQ PASSPORT」より一部抜粋したものです。「ECEQ PASSPORT」のご注文を希望される園は都道府県団体事務局を通じて本財団にご連絡ください。

ECEQ 実施園としての認定を受けて

実際に ECEQ を実施した 3 園の感想をご紹介します。

◆北海道・旭川ふたば幼稚園／山中健司

昨年度、ECEQ 公開保育を行わせて頂き率直に『やってよかった』ということが一番の感想です。

私自身も ECEQ コーディネーターの資格を認定して頂き、ECEQ の良さに気付いていましたが、実際に自園で ECEQ 公開保育を行い、STEP 2 を通して自園の良さや課題などが明確になったこと、職員同士での共通理解を持てたことは改めて良かったと思います。

STEP 4・5 では自園の問いを近い距離感で参加者の皆さまから色々な視点でご意見を頂き、自園での悩みや現在進めている保育の変化（一斉指導型の保育から子どもを主体とした遊び中心の保育）への迷いなどが少なくなり園の進むべき方向性が明確になったこと、他園の職員から認められることがあったことで自分たちの保育に自信を持てるようになったことがよかったと思います。

また、今回認定を受け認定書を掲示することで保

育の質を高めるためにしっかりとした活動に取り組んでいることの報告ができ、保護者との信頼関係を構築していく一つ的手段になったと感じています。

ECEQ のシステムが保育の質の向上に役立っていると思うので、どんどん広まって行けば良いと思います。

◆富山県・堀川幼稚園／波岡千穂

ECEQ のシステムで公開保育を実施したのは平成 27 年、東海北陸地区 ECEQ コーディネーター養成講座の 3 年目、3 園目の公開保育実施でした。

指摘され、気持ちも身体も疲弊するこれまでの公開保育との違いや、ECEQ のシステムの素晴らしさを伝えた上で、職員全員で公開保育を楽しみにしてきました。そして普段の保育を見てもらわないと本当の課題が見えない、「やってよかった」になるためにも頑張り過ぎない、あくまでも普段通りの保育を見て頂こうと職員にも必要以上の負担がかからないよう、楽しみに当日を迎えるようにしてきました。

元々園内研修でワークなどを通して語り合える



遊具：HOUSE

未来は、あそびの中に。

偉大なる発明も、世界を変えた公式も、
あそびから生まれた。

あそびは、すべての創造の源です。

あそび力を伸ばすことは、未来を切り拓くこと。
創造力をのばす。共感力をはぐくむ。ルールをまなぶ。
あそびから、こどもは無限の力を羽ばたかせていく。

あそびの環境に、あざやかな驚きを。

私たちは、未来をつくる仕事です。



チームではありましたが、外部の参加者に自分の保育や思いを生き生きと語る若手、そして参加者との対話によりどんどん気づいていく中堅を目の当たりにし、STEP 1 から STEP 5 までの取り組みを通して、自分の保育を見つめ直し、自園だけでは行っていくことができないところまで皆で考えることができたことは非常に大きな収穫だったと思います。具体的には子どもの育ちの目安、3年間の育ちのつながりを見える化する必要性から教育課程の見直しに向き合ったこと、ビフォーアフター表作成を通して目の前の子どもの姿を捉え、環境や援助を工夫、実践、振り返りのPDCA サイクルが確立してきたこと、ポートフォリオ、クラスだより、ドキュメンテーションなどの発信の工夫や改善ができたことなど、時間をかけてしっかり根付いてきているように思います。

公開保育実施園の経験から、その後コーディネーターとして活動するときも園にとって「やってよかった」になるために、実施園を理解し、保育者の思いにいかに関わり添うかという事を意識し臨むことができていることも公開保育を実施して良さを実感できた成果だと思います。

◆広島県・かえで幼稚園／中丸元良

2015 年に中国地区私立幼稚園教育研修会の中で ECEQ 公開保育を行いました。広島県で初めての

試みに中国地区から約 30 名の先生たちが参加されました。

コーディネーターの先生たちも初めての経験で互いに手探り状態でしたが、事前準備の中で最も重視したのは「普段通りを公開する」ということです。当園は遊びで育つことを何よりも大切にしていますので、当日も、いつものようにいわゆる自由遊びに多くの時間を使いました。

普段通りに過ごして分かったことの第一は、参加者もそれを望んでいるということです。特別に準備された「おもてなし保育」を見たいと思う人はいないでしょう。何の参考にもならないからです。

協議の時間では多くの感想や質問をいただきました。それを受け、お答えしているうちに、職員たちも普段何気なく過ごしていることについて「なぜこうしているのか」という本質に立ち返る機会にもなりました。普段通りを見ていただいたからこそ、それらを参加者と共有でき、普段の日々にこそ価値があるということを再認識できました。

さらに園長の私は、普段の姿を見ていただくためには重要な前提があることに気づきました。それは園児や職員に対する信頼です。子どもや保育者を信頼できなければ飾ろう、隠そうとしてしまいます。信頼の輪の中で仕事ができることの幸せを感じた公開保育でもありました。

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために
研修の記録を大切に残しておきましょう！

監修 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

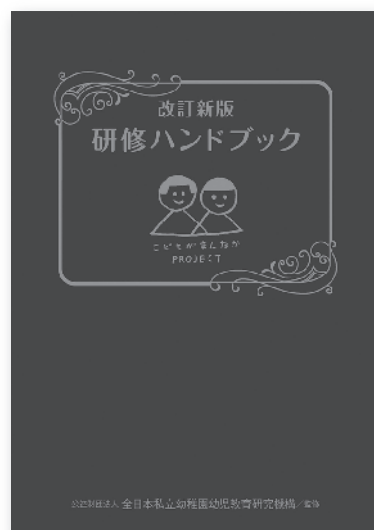
改訂新版 研修ハンドブック

4145301 **648 円** (本体 600 円)

●B6 判
●112 ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー CS 事業本部
TEL03-3262-5128



幼稚園ナビ 新機能が追加されました!

- ご利用には幼稚園ナビ導入セット(右図)が必要です。お手元がない設置者様は、下記お問い合わせまでご連絡ください。
- 合同就職説明会機能や研修機能などこれから益々便利になりますのでぜひご活用ください。
- 研修申込みや免許管理など職員の方も普段使い出来るサイトです!



幼稚園ナビとは?

幼稚園ナビは、全日本私立幼稚園連合会が開発を進めている教員免許取得者の人材確保を目的とした幼稚園に関する求人・イベント情報・お役立ち情報を掲載した幼稚園に特化した全国版総合情報ナビサイトです。



幼稚園ナビの特徴

イベント・求人情報を
無料掲載!

1

求人情報の
簡単登録機能!

2

職員の研修・免許
管理機能搭載!

3

求人票 PDF の
自動作成機能

4

ハローワーク求人と
自動連携!

5

自園の魅力を
学生に発信!

6

詳しくはWebサイトをご覧ください

<https://navi.youchien.com/>



お問い合わせ

幼稚園ナビ サポート事務局
担当: 岩崎

☎ 093-647-7330
✉ support@navi.youchien.com

令和元年度 地区教研大会概要

北海道地区 教育研究大会

北海道・札幌市／7月29日

大会テーマ 「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」

～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

本年度も北海道私立幼稚園教育研究大会の全体会を7月29日（月）に開催いたしました。例年2日間の日程にて開催していた本研修会ですが、預かり保育や認定こども園の増加などにより勤務形態が多様化し、研修参加が難しくなっているため、昨年から内容を凝縮し1日の日程として開催しています。

1日の日程での開催に変更し、併せて研修内容の充実を図ったところ、昨年度は一昨年度の約1.6倍の約860名、本年度はさらに増え、約900名が参加する研修となっており、今後も増加することが予想されています。

日程だけに留まらず、無償化の実施に伴い、質の向上に各園とも積極的に取り組みを行っており、研修スタンプの発行なども後押しとなっています。

さて、北海道では広大な面積とそれに伴う交通事情、また、研修機会の確保等から、この全体会をはじめ、道内を5ブロックに分割し、教育研究ブロック大会として開催し、きめ細かく幼児教育・保育の質の向上を図っております。

例年、そのブロック大会の皮切りとなる本大会ですが、本年度は基調講演に日本体育大学体育学部健康学科教授野井真吾先生をお招きし、「子どものからだと心の事実から、生き生きと育つために必要なことを考える！」の演題でお話をいただきました。

日頃の子どものからだ・心・生活について、先生や保護者の実感と様々な研究データから科学的に明らかにし、それらに対し仮説的提案をしながら、子どもたちが夢中になれる取り組みを仕掛け、子どもも大人も楽しみ、のんびり輝きながら「よい加減」を探求していく大切さについてお話いただきました。

た。

午後には6つの分科会を設定しました。分科会の設定においては、例年、課題意識が高い内容を中心に、バランスを考慮して設定しております。

本年度は、「園内研究（様々な園内研究から学ぶ）」、「人材確保・人材育成（ここから始めよう人材確保・人材育成）」、「乳幼児保育」を2つ（0～2歳児の発達理解に基づく安全な保育実践）・（乳幼児期の育ちと保育）、そして「特別支援教育（さまざまな課題をかかえる子どもの保護者支援）」、「保育実践（砂場での遊びと環境）」という各テーマにて分科会を実施いたしました。

近年の傾向として、特別支援教育と乳幼児保育や保育実践について大変関心が高く、特に特別支援教育には約300名もの参加があり、喫緊の課題であると同時に、本テーマについては引き続き積極的に取り組む必要がある状況となっています。

本年10月から幼児教育・保育の無償化が施行され、今後、幼児教育・保育を取り巻く環境がさらに大きく変化し続けていくことが予想されます。

無償化という大きな変化により、保護者、地域、社会からますます期待や要望が高まること、そして、しっかりと質の向上を行っていくことが求められることから、幼児教育・保育を担う者として、これらの役割と責務を果たしていくためには、その期待に応えること、併せて資質・能力の向上がより一層重要となってきています。

これからも幼児教育をしっかりと中心に据えながら、研修を行っていきたいと思っております。

（（公社）北海道私立幼稚園協会教育研究委員長、富良野市・慈恵ひまわり幼稚園／青木賢亮）

大会テーマ 「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」

～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

東京地区教研大会は、24日の全体会を有楽町のみゆりホールにて、25日の分科会をアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて実施しました。

参加者は約860人にものびりました。開会式では20年以上勤務された永年勤続表彰の受賞者が90名いらっしゃり、代表者である60年勤続の都私幼連三代前会長清水博雅先生に表彰状が手渡されました。元気なお声で謝辞を述べられ会場が湧きました。

開会式に続く基調講演は、東京家政大学教授、加藤繁美先生に「保育の中の子どもの声」のテーマでご講演いただきました。多くの保育実践記録を基に、保育者の専門性を構成する要素「概念的知性」「直感的応答力」と子どもの要求との対話的関わりなど具体的で深く学ぶ機会となりました。

次に行われた対談と演奏では森に暮らす演奏家前澤勝典、朱美両氏「亀工房」によるハンマー・ダルシマーの美しく澄んだ音色とそれを包むアコースティック・ギターの温かさの中で、上遠恵子先生（レイチェル・カーソン日本協会会長）と小西貴士氏（写真家、森の案内人）の対談が行われました。センス・オブ・ワンダーの世界に導き、子どもと大人と自然を深く考え、心を掘り起こす素敵な時間をつくりました。

教師に求められる資質、役割について専門性を磨く視点を1日目の講演から学び、その心持ちを携えて2日目を迎えることを都私幼教研委員会は意義深く感じながら計画してきており、実際翌日の分科会への主体的参加に繋がったと分科会担当者が感じたことは嬉しいことでした。

大会2日目は、9つの分科会での討議やワークショップなどが、講師の先生の講義やアドバイスをいただきながら熱心に行われました。各分科会テ

マは以下のとおりです。

第1、園長主幹「無償化の先の幼稚園の持続可能性～現状を踏まえた実践の提言～」青木久子先生（青木幼児教育研究所主宰）平山許江先生（青木幼児教育研究所、立正大学大学院非常勤講師）

第2、「2歳児の育ち～心（自我の芽生え）と体（運動）が飛躍的に伸びる時期～」今井和子先生（子どもとことば研究会代表）

第3、「あそびの中の学び～『自発的な活動としての遊び』の重要性を実践から考える～」田澤里喜先生（玉川大学准教授）

第4、「保育環境～子どもたちが挑戦したくなる環境とは～」野口隆子先生（東京家政大学准教授）

第5、「幼小接続～幼児期の園生活から小学校へ、その生活の変化を探る～」吉永安里先生（國學院大学准教授）

第6、「気になる子の理解と援助～友達とのかかわりを通して共に育ち合うクラス運営を考える～」宮崎豊先生（玉川大学教授）

第7、「子ども理解と遊びの援助～遊びの大切さを保護者に伝える言葉をもちましょう～」守隨香先生（共立女子大学教授）

第8、「預かり保育～『くつろぐ』ってどういうこと？～」宮里暁美先生（文京区立お茶の水女子大学こども園園長）

第9、「表現～遊びの中の表現活動をめざして～保育者に求められるスキルと多様性～」花輪充先生（東京家政大学教授）

ポスター発表は合計で14点が集まりました。年々少しずつ増えています。

（東京都私立幼稚園連合会教育研究委員会委員長、中野区・やはた幼稚園／関政子）

大会テーマ 「子どもとともに遊び、学びそして幸せな未来へ」

東海北陸地区教育研究大会が8月1日（木）、2日（金）に、富山県富山市において開催されました。新しい元号での最初の教育研究大会となりました。10月からの幼児教育・保育の無償化を控え、AI（人工知能）時代に向かう子どもたちの健やかな成長を願い、私立幼稚園関係者1,600名が全体会、分科会を通して互いに学びを深め合いました。

◆全体会

越中五箇山麦屋節保存会の「麦屋節」で大会の幕を開けました。開会式では、東海北陸地区特別感謝状、東海北陸地区功労者表彰、永年勤続表彰の後、ご来賓から祝辞をいただきました。その後、記念講演として「生活習慣が学びの土台を作る～賢く・元気に・機嫌よく！」の演題で、(独法) 国立青少年教育振興機構理事長鈴木みゆき氏にご講演いただきました。現在の日本の子どもたちは、睡眠時間が世界の最低レベルにあり、また就床時刻が遅くなることにより、朝食を欠食する割合が増える傾向にあります。これにより、情緒の不安定、知的発達への影響、性の早熟化、肥満など様々な問題の原因となっていることが懸念されます。大人にとって便利で都合の良い生活習慣を子どもに押し付けることなく、子どもの健全な成長を妨げない生活をわれわれ大人がしっかりと考えなければならないと語られました。

記念講演に引き続き、記念ステージとして女優の室井滋、絵本作家の長谷川義史、サクソ奏者の岡淳、ピアニストの大友剛を擁するしげちゃん一座の音楽とトークライブ、絵本の読み聞かせなどが行われ、会場全体が一つになって楽しい時間を過ごしました。特に室井滋さんの「しげちゃん」の読み聞かせは、さすが女優と思わせるすばらしいものでした。

また、東海北陸地区教育研究大会での初めての試みとして「ポスター発表」を行いました。参加者か

らの質問に答え、学びを深めることができました。

◆分科会

1～10分科会のテーマは2年継続の2年目として、話題提供者から具体的な実践に基づいた事例や課題の提案があり、それらをもとに参加者が協議し、助言者からの確かな助言をいただきました。11分科会は、富山県独自の分科会として「やってよかった公開保育～公開保育を活用した保育の質向上システム・ECEQとともに学びましょう！～」というテーマのもと、幼保連携型認定こども園白藤幼稚園で公開保育を実施し、午後からは、ワークショップや安達譲先生の講義を受けました。公開保育実施園のみならず、参加者にとっても保育の質について考える機会となったと思います。また12分科会は、地区教育研究大会での初めての試みとして、(公財) 全日私幼研究機構主催のキャリアアップ研修を実施しました。講師には、文部科学省の河合優子調査官、小出彰宏調査官をお招きしました。約100名の参加者が普段の研修では網羅しにくい「マネジメント」「学校環境衛生管理マニュアル」について学びました。

◆PTA大会

富山国際会議場メインホールで、しげちゃん一座「絵本と音楽の親子コンサート」を親子約800名が楽しみました。歌や読み聞かせなど会場が一つになって大変楽しい時間を過ごしました。

子どもたちの未来の幸せを願い、実り多い大会にしたいと協会全体で計画、準備、運営をしてまいりました。本大会を支えていただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
(富山県私立幼稚園・認定こども園協会副会長、富山市・堀川幼稚園／波岡伸郎)

大会テーマ 「平成から令和 新しい時代を生きる 子どもたちの今と未来の幸せをねがって」

～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

令和元年7月25日（木）～26日（金）港町神戸に、近畿地区各地より1,114名が一堂に会し、「第34回近畿地区私立幼稚園教員研修大会兵庫大会」が開催されました。

開会式では、兵庫県副知事、神戸市副市長祝辞をいただきました。

記念講演では、青山学院大学地球社会共生学部教授、陸上競技部監督原晋先生をお迎えし「箱根駅伝から学んだこと」と題してご講演いただきました。

続きまして基調講演では、広島大学大学院教育学研究科准教授中坪史典先生から、「保育の質を高めるために」と題しまして海外の研究事例を豊富に交えたご講演をいただきました。

懇親会では兵庫県知事をはじめ各方面からご来賓の方々をお招きし400名を超える皆様が親睦交流の輪を広げました。オープニングでは、兵庫県内の有志の先生方のバブルダンスで皆様をお迎えしました。アトラクションでは、国際魔術・マジック大会で優勝経験のある亜・空・亜SHINさんの超絶マジックと変面パフォーマンスで大いに盛り上がりま

した。エンディングではオープニングの有志の先生方と共に会場皆で「パプリカ」のダンスで締めくくりました。

2日目は以下の6分科会に分かれ各地区ごとの研究発表のあと、質疑応答が行われました。

第1分科会 滋賀県「こうちゃんがやってきた！！～インクルージョン（共生共育）を考える～」

第2分科会 大阪府「非認知的能力を育む保育実践～0歳から積み上げる保育と保育者の専門性～」

第3分科会 和歌山県「みずからあそべる子どもを育てよう～からだを動かす心地よさを～」

第4分科会 京都府「子どもの育ちを支える園内研修（ドヤツ会議）～遊ぶことは学ぶこと～」

第5分科会 奈良県「豊かな感性と表現を育む保育～地域や自然との関わりの中で～」

第6分科会 兵庫県「3歳未満児の保育のあり方～発達理解からの保育の展開～」

第7分科会 兵庫県「経営と組織マネジメント」（一社）兵庫県私立幼稚園協会広報委員長、西宮市・松風幼稚園／貴田大介）



チャイルドブックの月刊保育雑誌

Pot

ポット

定価 本体 1,000円 + 税

<http://www.childbook.co.jp/pot/>

2019

大きくなって 読みやすく!

リニューアル!

ワンテーマ 20ページの
巻頭大特集を毎月掲載!

チャイルド本社

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

ご注文は、貴園担当のチャイルドブック販売店
または書店まで。

日本私立学校振興・共済事業団の融資

幼稚園の経営者のみなさん、こんなお悩みはありませんか？



園舎が古くなったので、安全性を考えて建て替えたい

令和元年度 耐震に関する利子助成制度です。
ぜひご活用ください！

対 象

○旧耐震基準の園舎の建て替え
耐震化促進のための補助金の
対象となる改築事業

耐震改築利子助成

〔私立学校施設整備費補助金〕
〔安心こども基金等〕

○耐震補強工事・非構造部材の
耐震対策事業
防災（耐震）機能強化のための
補助金の対象となる改修事業

防災（地震）対策費（耐震改修利子助成）

事業団の融資

この融資制度は
文部科学省から私立学校施設高度化
推進事業費補助（利子助成）を受ける
ことができますので

全借り入れ期間
実質0.5%の
固定金利です。

※融資金利が0.5%以下の場合は
利子助成は行われません



融資上限＝補助対象事業費－補助金

※ 補助金の対象となっている事業に
対してご利用いただけます。



給食室を増築したいけど資金が…



通常の融資もご相談ください。

低利・固定金利
借入期間はなんと！
最長20年

返済方法は
利息負担の少ない
元金均等返済

融資金利表

令和元年9月1日現在

融 資 費 目	返 済 期 間		
	20年以内 (うち据置2年)	10年以内 (据置年数含む)	6年以内 (据置年数含む)
【一般施設費】 園舎・遊戯室等の建築事業等 並びに園地の買収事業等	年% 0.32	年% 0.302	年% 0.402
【教育環境整備費】 校教具並びに通園バスの購入等	—	0.302	5年6か月以内 (うち据置6か月) 0.302

※融資金利は毎月の金利情勢により変更することがあります。

※上記費目以外にも災害復旧事業、公害対策事業等が対象となります。

日本私立学校振興・共済事業団
融資部 融資課

〒102-8145 千代田区富士見1-10-12
☎ 03 (3230) 7862～7868
✉ yushi@shigaku.go.jp

幼稚園ナビにおける 研修履歴管理について

神奈川県では平成30年度より県内の研修を幼稚園ナビで申し込み、研修履歴を幼稚園ナビで管理するシステムの改善と運用に（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構と協同しながら取り組んでいます。この取り組みの発端は、処遇改善の研修を管理運用するに当たってハンドブックに貼る研修スタンプ発行の簡略化、研修履歴をどう管理するかということから始まりました。

最初に問題になったのが、各幼稚園の幼稚園ナビへの登録が非常に少なかったことです。この点に関しては研修の申し込みは幼稚園ナビからしか出来ない事を県の会議、各協会の会議、各市区町村の会議で徹底して行ったことで登録率が上がっていき、令和1年では90%近くになりました。それは登録の仕方の説明会を開き、幼稚園ナビを使うことがいかに事務の効率化を図り、研修の運用、設置者園長による先生方の研修履歴の把握が楽になるかを伝えていった事によります。

またそれだけではなく先生方の研修履歴がデータ上で管理されるため、職場が変わっても自分のデータがどこまでも生かされるということを伝えていったことも大きな要因だと思っています。

このシステムが事務や研修会の効率化と履歴の管理、先生方の履歴を守るためにとても大きな役割を果たすことを、実際に運用する中で感じてきました。まだまだ微調整が必要ですが、全国の皆さんが安心して効率よく使用できるシステムを目指して取り組んでいます。是非今のうちから幼稚園ナビの登録をしていただくようお願い致します。

（（公社）神奈川県私立幼稚園連合会研究部長、伊勢原市・伊勢原ひかり幼稚園／佐伯妙有）

より良い幼児教育・保育の実践 を目指して

夏休みが明け、いよいよ2学期のスタートを切ったばかりですが、8月末からの九州北部豪雨、9月に入ってから台風13号、そして15号と、各地で自然災害が猛威をふるいました。加盟園の皆様におかれましては、被害等が最小限であられることを心より願います。

さて、この原稿が掲載されている頃には「幼児教育・保育の無償化」がすでにスタートを切っていることと思います。皆様もその準備・対応に多忙な日々をお過ごしになったのではないのでしょうか。これまで私どもが強く訴えてきたことが遂に実現されるという喜びと共に、それに伴ってまた大きな変化が生じてくることも想定されます。これまで以上に多くの公金が投入されることで、私たちに課せられる責任も、その分これまで以上に重いものにならざるを得ません。この事を設置者、園長、教職員の全てがしっかりと理解し、その期待に応えるべく、「より良い幼児教育・保育の実践」を目指して日々努力と研鑽を重ねてまいりましょう。

私どもの連合会でも、昨年度より新たに乳児保育の研修を開始したり等、一步一步ではありますが、我々に寄せられる期待に応えることができるように学びの機会を設けているところです。全国的な保育者不足等、様々な課題はありますが、AIが進歩していくこれからの社会においても、子どもという「可能性の種」をサポートしていくには、私たちの仕事は間違いなく必要とされます。幼稚園・認定こども園が、「子ども・保護者・教育者」の豊かな成長の場となるように、これからも連合会として加盟園をサポートしていきたいと思っています。

（長崎県私立幼稚園連合会広報委員長、長崎市・日見幼稚園／廣井昭博）

編集後記

今年は夏の間に妻の実家がある山形で沢山枝豆を食べました。一見地味な食べ物ですが、私は枝豆が大好きです。一口に枝豆と言っても、その種類は実に様々。産直には枝豆のコーナーがどーんと置かれ、所狭しと並べられた枝豆たちがお客さんを待っています。その中でも特に印象に残った三種類を紹介します。まずは「神風香」。オーソドックスな枝豆といった感じで味のバランスが良く、さっぱりとした味わいです。次に「味風香」。強い甘みと香ばしさがあります。噛んでいると甘みが口の中にふわ〜っと広がり、ミルクのような甘みが舌に残ります。最後は黒枝豆の「濃姫」。名前の通り濃い！全体的に強い味で甘みよりも豆の香ばしさを強く感じます。食べ比べてみると品種による味わいの違いに驚きます。また、茹でたてと冷めた後でも味わいが変わることも発見しました。一粒の枝豆をじっくりと味わってみるのもまた楽しいものです。秋も深まってまいりました。いろいろな旬に目を向けてみるのもよいと思いました。

(調査広報委員・前田浩輔)

免許状更新講習を受講・修了された皆様へ

更新講習を受講し終えた後、期限までに免許管理者（都道府県教育委員会）に対する申請が必要です。期限までに必要な申請をしなかった場合、更新講習を受講し終えていたとしても、有する免許状が失効してしまいます。

「更新講習修了確認」に係る申請方法や提出書類は各免許管理者が定めております。各免許管理者が定める申請方法等を確認の上、必ず期限までに申請を行うよう、ご注意ください。

※申請期限

・修了確認期限が令和2年3月31日

(第10グループの方) → 令和2年1月31日

・新免許状所持者、あるいは過去に免許状の更新をされた方は、免許状に記載されている期限の2年2か月前から講習の受講を開始し、2か月前までに免許管理者へ申請を行ってください。

申請先一覧（文部科学省 HP）

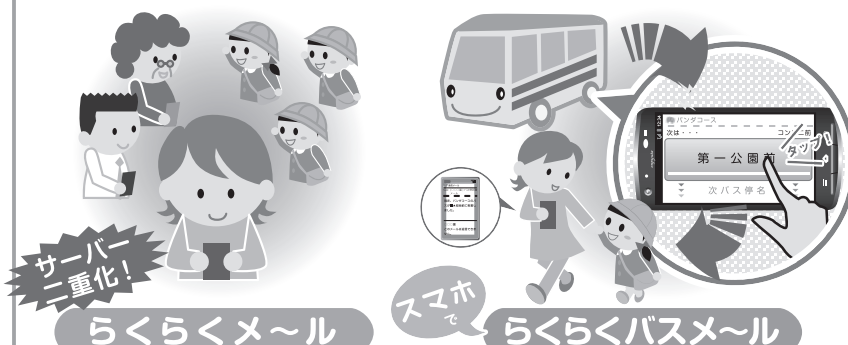
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/010/1314009.htm

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ〜んぶ学研に
おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。

令和元年度（第 9 回） 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 旭川市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 12 月 8 日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	吉田 耕一郎（北翔大学 非常勤講師） 佐藤 公文（北海道教育大学旭川校 非常勤講師）	6 時間	令和元年 12 月 7 日	90 人	平 31-80011-101141 号
大分県 大分市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 12 月 1 日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	清水 良彦（大分大学 教育学部 附属教育実践総合センター准教授） 麻生 良太（大分大学 教育学部 附属教育実践総合センター准教授）	6 時間	令和元年 12 月 7 日	100 人	平 31-80011-101142 号
東京都 千代田区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 12 月 22 日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	黒田 秀樹（九州女子短期大学 非常勤講師） 宮下 友美恵（静岡県立大学 短期大学部非常勤講師）	6 時間	令和元年 12 月 21 日	150 人	平 31-80011-101143 号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 旭川市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の 2 項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は 12 月 7 日開催の必修講習と連続して行うものです。	吉田 耕一郎（北翔大学 非常勤講師） 佐藤 公文（北海道教育大学旭川校 非常勤講師）	6 時間	令和元年 12 月 8 日	90 人	平 31-80011-302359 号
大分県 大分市	幼児教育・保育者に求められる ICT 活用に関する基礎知識と情報モラルを理解するとともに、保育で実践できる ICT の具体的な活用方法について学ぶ。具体的には、ICT 活用に関する基礎的な基礎知識やプログラミングツール、情報モラルなどについて実践的に学ぶとともに、幼児教育・保育における具体的な活用法をグループ毎に検討し、幼児教育・保育の質の向上に向けた実践的態度を習得する。なお、本講習は 12 月 7 日開催の必修講習と連続して行うものです。	中原 久志（大分大学 教育学部 准教授）	6 時間	令和元年 12 月 1 日	100 人	平 31-80011-302360 号
東京都 千代田区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 12 月 21 日開催の必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦（武蔵野東第 1 幼稚園 園長） 東 重満（札幌国際大学 人文学部心理学科特任教授）	6 時間	令和元年 12 月 22 日	150 人	平 31-80011-302361 号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
山口県 下関市	本講習は、「幼稚園教育内容を深める」ことを目的として、①特別な支援を必要とする子どもにおける個々の理解に基づいた関わり②発達障害の種類と理解③家庭や地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係者との連携などを中心に講義等を行います。	中山 浩行（宇部フロンティア大学 短期大学部非常勤講師）	6 時間	令和元年 12 月 14 日	50 人	平 31-80011-509056 号
奈良県 奈良市	本講座では、子どもたちが、造形、図画工作表現の基本をおさえて、「表現」する喜びを味わうことができる教材について実習を通して考察します。今回は、子どもたちが興味を持って取り組める動くおもちゃ的な造形教材を製作します。午前中の講義では、紙バックや色画用紙、色紙、ストロー、ナイロン袋等を利用して、いくつかの課題を製作していただきます。午後は、ボール紙と割りピンを使っての工作を体験いただきます。動きを楽しんだり、年齢が上がれば、自分なりの工夫を考えたり等年齢に合わせて対応できるとと思います。	井上 龍彦（姫路大学 教育学部 教授）	6 時間	令和元年 12 月 26 日	50 人	平 31-80011-509057 号
奈良県 奈良市	本講座では、幼稚園教育要領の領域「表現」が、感性や表現力を養い、創造性を豊かにするものであることを踏まえ、幼稚園教育要領の子ども表現に関わる部分の読み解きや、遊び・生活の中で見られる幼児の多様な造形表現の実践事例から、保育者の援助や環境構成の重要性について考える。また、自園の造形表現活動をふり返ることを通して、理論と実践を結びつけて考える活動を行う。	佐川 早季子（奈良教育大学 准教授）	6 時間	令和元年 12 月 27 日	150 人	平 31-80011-509058 号